

平成30年度



学 校 要 覧



校 歌

小田島 憲 作詞
伊藤 一男 作曲

一
望む愛染 雲晴れて
山なみ深き 柏木野
仰ぐしるしの 柿松葉
輝く伝え 受けつぎて
そびえてたてり 甲子校

二
緑はとけて さやかなる
甲子の川に おどる鮎
すがし心を 洗いつつ
けだかきひとみの 輝きに
誇りも高し 甲子校

三
山貫くたがね たちからの
はがねのごとく たくましく
こぞる力を ひとすじに
強く正しく 高らかに
共にはげまん 甲子校

(昭和二十八年制定)

釜石市立甲子小学校

〒026-0055 釜石市甲子町第9地割87番地

TEL 0193-23-5525 FAX 0193-23-5520

E-mail kasshi-es@edu-kamaishi.jp

I 学区の概要

学区は、釜石市の西部に位置し、遠野市と境をなしており、片羽山（1269m）、愛染山（1238m）、五葉山（1341m）、松倉山（615m）等の山々で囲まれ、片羽山付近を源として東流する甲子川の上流に沿った標高約 200m（JR陸中大橋駅付近）から約 40m（県立釜石病院付近）の地となっている。狭隘な平地ながらも、洞泉・関沢・大畑地区には田畑が広がり、ハウス栽培等の技術を取り入れた農業生産が行われている。また、坪内・松倉地区には誘致企業の工場があり、工業生産を進めている。学区内には、幼稚園・中学校・高等学校の教育機関、県立病院や様々な福祉施設、釜石市球技場等の施設があり、教育環境として比較的恵まれている。

本校は、明治 9 年に甲子村柏木野に公立甲子小学校として創立し、昭和 24 年に小佐野小学校の一部を編入、昭和 36 年には唐丹小鍋倉分校を吸収し、平成 19 年に大松小学校との統合で現在の学区となった。

学区内を国道 283 号線と JR 釜石線が通り、東北自動車道釜石秋田道の降り口ともなっており、交通の要所となっている。また、東日本大震災後、住宅再建により宅地化が進んだことや、復興関連工事により交通量が増加しており、交通事故防止が重要な課題となっている。

II 学校の沿革

明治 9, 9	公立甲子小学校創立 甲子村柏木野9-160 柏木仙蔵氏建屋借用	昭和63, 10	学校公開研究会（国語科）
10, 6	松倉に校舎新築 甲子村松倉10-1-2-3	平成 2, 8	校舎新築（現校舎）
10, 8	野田に分校を設置	3, 3	体育館新築
12, 10	唄貝に分校を設置 野田分校を廃止	4, 4	甲子小学校交通安全少年団結成
19, 12	甲子簡易小学校と改称	6, 3	プール新築
20, 4	甲子尋常小学校と改称 唄貝分校を分離 小川に分校を設置	3, 4	学校給食開始 14学級340名
21, 8	小川分校を廃止	6, 3	プール新設
26, 4	校舎改築 児童数50名	6, 6	プール周辺の季節園等の整備
34, 4	初代校長尾原廣吉氏就任	7, 10	学校公開研究会（小中連携・教育課程一般）
大正 2,	高等科設置（2度目）	8, 9	創立120周年 記念事業・式典
	甲子尋常高等小学校 4学級151名	9, 6	校庭西側防球ネットを設置
昭和 5, 5	校舎新築 甲子村9-27-2 6学級164名	9, 9	校庭等の整地・整備
16, 4	甲子国民学校と改称 8学級 189名	10, 4	11学級239名
22, 4	甲子村立甲子小学校と改称 6学級215名	10, 10	岩手県社会科教育研究大会
24, 4	小佐野小学区一部編入 8学級342名	13, 10	岩手県道徳研究大会（小中連携道徳）
26, 9	校旗制定	18, 4	文部科学省指定「生きる力を育む読書活動」 推進地域に指定（2年間）
27, 7	校舎新築（現在地） 甲子村9-87 校歌制定	19, 4	大松小学校と統合 12学級305名
30, 4	釜石市立甲子小学校と改称 15学級676名	19, 11	岩手県図書館教育研究大会
31, 9	屋内体育館新築	22, 1	岩手県学校環境衛生優良校表彰
34, 5	西校舎8教室増築 22学級1111名	23, 3, 11	午後2時46分 東日本大震災発生
36, 4	唐丹小学校鍋倉分校を本校に所属	23, 3, 12	自衛隊災害派遣部隊の基地となる 鶴住居小、釜石小、釜石東中、大槌小 釜石高校、釜石商工の児童生徒と保護者 約500名の避難所となる
37, 5	南校舎6教室増築 25学級1214名	23, 3, 29	卒業式
40, 10	学校公開研究会（体育科）	23, 4, 19	始業式
44, 8	プール設置 14学級443名	23, 4, 20	入学式
48, 10	学校公開研究会（道徳）	23, 8, 10	避難者が体育館を退去
51, 3	鍋倉分校廃止	26, 11,	東北音楽教育研究大会
51, 10	創立100周年 記念事業・式典 15学級498名	27, 3	コカ・コーラ復興支援事業により「太陽光 発電設備」を設置
52, 7	低学年プール設置	28, 6	日本善行会「善行賞」受賞
53, 2	学校公開研究会（算数科）	29, 2	「住みよい地球」全国小学生作文コンクール 「学校奨励賞」受賞
55, 9	学校公開研究会（体育科）	29, 4	甲子小学校少年少女防災クラブ結成
昭和57, 10	学校公開研究会（学校安全教育）		
59, 10	岩手県書写書道教育研究大会		

Ⅲ 学校経営の概要

学校の教育目標	
『知性と豊かな心に富み、たくましい実践力に充ちた心身ともに健康な児童の育成』	
「かしこく」	進んで考え、やり抜く子ども
「やさしく」	豊かな心を持ち、思いやりのある子ども
「たくましく」	健康でたくましい子ども

学校経営の基本方針
『一人一人が主人公』
<p>◎子どもたちが主体的に学習し、基礎・基本を身につけることができるように、1時間1時間の授業の充実を図る。</p> <p>◎子どもたちが意欲的に学校生活を送ることができるよう、かかわりを大切にして学級経営の充実を図る。</p> <p>◎子どもたちの望ましい生活習慣の確立に努め、体力や健康の保持・増進を図る。</p> <p>◎家庭や地域との連携を密にし、保護者・地域の願いに応える『開かれた学校』を推進する。</p> <p>◎一人一人の心のケアを大事にし、専門機関と連携を取りながら支援する。</p>

めざす姿	
— 学校像 —	
<ul style="list-style-type: none"> *学習の気構えのみなげる学校 *良さを認め、心のふれあいや励まし合いのある学校 *家庭や地域に信頼される学校 	<ul style="list-style-type: none"> *一人一人の可能性や個性を大切にする学校 *健康で活気のある学校
— 子ども像 —	— 教師像 —
<p><素直な子ども></p> <ul style="list-style-type: none"> *主体的に学習に取り組む子 *自立して生きるための基礎・基本を身につけた子 *自他の良さを認め、共に助け合い励まし合う子 *良いもの、美しいもの、すばらしいものに感動する子 *きまりを守り、進んで働く子 *自ら課題を見つけ、最後までやり抜く子 *生命を大切にし、健康で安全な生活ができる子 	<ul style="list-style-type: none"> 「か」－ 活気 ふれあいを大切に、子どもと共にある教師 「つ」－ 追求 創造性と研修意欲にあふれる教師 「し」－ 真摯 謙虚で思いやりがあり、協働する教師

今年度の取り組みの重点
<p>(1) 進んで考え、やり抜く子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもが見通しをもてる課題を設定し、わかる楽しい授業を展開する。(振り返りの重視、理科・生活科の研究推進) *個に応じた指導を工夫し、基礎・基本の定着を図る。(特別支援教育の充実、授業と連動した家庭学習の工夫) <p>(2) 豊かな心を持ち、思いやりのある子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> *良さを認め、人との関わりを大切にした学級経営の充実を図る。(挨拶運動の推進、個が活かされる学級作り) *社会性、自主性を高める体験活動や児童会活動を工夫する。(児童会活動・たてわり班活動の推進) <p>(3) 健康でたくましい子</p> <ul style="list-style-type: none"> *『甲子小10のめあて』をもとに、よりよい生活リズムを確立させる。(きまりの尊重、安全ルールの徹底) *保健指導と体育授業の充実により、健康な体づくりを推進する。(朝運動・外遊びの奨励) <p>(4) 家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> *地域との交流、地域の人材活用を推進する。(交通安全少年団活動と登校指導及び挨拶運動の推進) *家庭訪問や電話等での連絡を密にし、保護者との信頼関係をつくる。(早めの連絡と丁寧な対応) <p>(5) 心の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> *教育相談等を参考に、一人一人の内面を理解しながら適切な指導に努める。(教師と子どものふれあい) *家庭や関係機関と適切に連携して対応する。(SCとの連携、巡回相談の活用)

IV 校章



郷土甲子に産する柿のへたを図案化して外郭とし、郷土愛と若人の情熱を表した。そして、内側の下部に名峰五葉山に繁殖する五葉双葉を交差して配し、旧住民と新住民の親和と調和の上に文化遺産と新しい文化遺産との調和を願ったものである。なお、内側中央に校名の甲子の文字を配し、気高く誠実な新制甲子小学校創立期の児童像を表現したものである。

V 学校の概要

1 学級・児童数及びPTA会員数

(H30. 4. 3現在)

学年等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	若竹	わかば	合計
学級数	2	2	2	2	2	1	1	1	13
男子	23	20	23	18	21	20	1	2	128
女子	22	22	23	23	22	19	1	0	132
合計	45	42	47	42	43	39	2	2	260
PTA	29	23	37	36	40	39	2	2	206

2 日課表

時程	月	火	水	木	金	時間
8:20～8:30	朝読書	朝会活動	朝読書			10
8:30～8:40	朝の会					10
8:45～9:30	1校時					45
9:35～10:20	2校時					45
10:20～10:35	中休み					15
10:40～11:25	3校時					45
11:30～12:15	4校時					45
12:15～13:00	給食					45
13:00～13:20	昼休み					20
13:25～13:40	清掃			5校時	清掃	15
13:45～13:55	ジャンプアップタイム			13:25～	ジャンプアップタイム	10
14:00～14:45	5校時			14:10	5校時	45
14:50～15:35	帰りの会	6校時		帰りの会	6校時	45
15:00～15:45	委員会・クラブ	帰りの会		下校	帰りの会	10
下校時刻 4月～10月、2月～3月 … 16:30						
11月～1月 … 16:00 木曜日 … 14:30						

3 年間主要行事

4月	1学期始業式 入学式 交通安全教室 授業参観 1年生を迎える会 家庭訪問
5月	柏木野集会 運動会 修学旅行
6月	プール清掃 プール開き 宿泊体験学習
7月	期末面談 1学期終業式 夏季休業 地区水泳記録会
8月	夏季休業 2学期始業式
9月	校外学習(1年～4年) 地区陸上記録会 マラソン大会
10月	学習発表会
11月	学校公開 市連合音楽会 フリー授業参観 柏木野集会
12月	児童会役員選挙 期末面談 2学期終業式 冬季休業
1月	冬季休業 3学期始業式 授業参観
2月	入学説明会 6年生を送る会
3月	修了式 卒業式 離任式

甲子小まなびフェスト 2018

～一人一人が主人公～

釜石市立甲子小学校

学校教育目標 (甲子小がめざす子ども)

「知性と豊かな心に富み、たくましい実践力に充ちた心身ともに健康な児童の育成」

- 1 **かしこく** ⇒ 進んで考え、やり抜く子ども (自立・向上)
- 2 **やさしく** ⇒ 豊かな心をもち、思いやりのある子ども (豊かな心情)
- 3 **たくましく** ⇒ 健康でたくましい子ども (心身の健康)

進んで考えやり抜く子ども

1 わかる・楽しい授業

- ・「わかった」「できた」と実感できる授業
- ・「思考・判断・表現」の力をつける授業
- ・学習規律を身につける授業

2 個に応じた指導の工夫

- ・特別支援教育の充実
- ・J Uタイム・**家庭学習**の工夫

健康でたくましい子ども

1 よい生活リズム・習慣づくり

- ・「甲子小学校十のめあて」
- ・正しい廊下歩行
- ・安全ルールの徹底で事故0を目指す

2 健康な体づくり

- ・朝運動・外遊びで体力・運動能力を高める
- ・**食育、う歯・肥満予防**の指導の充実

常に、評価・反省・改善を加えながら実践します

豊かな心・思いやりのある子ども

1 良さを認め合う学級づくり

- ・**相手の気持ちを考えた言葉づかい**ができる
- ・明るくあいさつができる
- ・ひとりひとりを大切にする学級

2 社会性や自主性を高める活動

- ・子どもが活躍する行事や活動の工夫
- ・協力して取り組む縦割り清掃

♡心の健康♡

- ・教育相談の充実
- ・**家庭と連携を密にし**、子どもの心身の状態を把握して適切に対応する

◆家庭・地域との連携◆

- ・**PTA、町内会、地域との連携**
- ・地域の方々と児童との交流
- ・幼稚園、保育園、中学校との連携

徹底的に、かつ、じっくりと (甲子小がめざす教師)

- | | |
|--------|--------------------|
| 「か」—活気 | ふれあいを大切に子どもと共にある教師 |
| 「つ」—追求 | 創造性と研修意欲にあふれる教師 |
| 「し」—真摯 | 謙虚で思いやりがあり協働する教師 |

○実態把握、原因究明、そして共通理解をして改善します

○家庭・地域との連携を大切にして目標達成を目指します

※ □ は、地域・家庭と連携して取り組む。